

# 評価文化形成に向けて

## —短期大学基準協会の第三者評価—

(財)短期大学基準協会  
第三者評価委員長  
関根 秀和

中央教育審議会大学分科会制度部会  
2006.6.30.

# 大学評価の類型

評価の発生源	評価の機能	
	支援	価値決定
内部	I	II
外部	III	IV

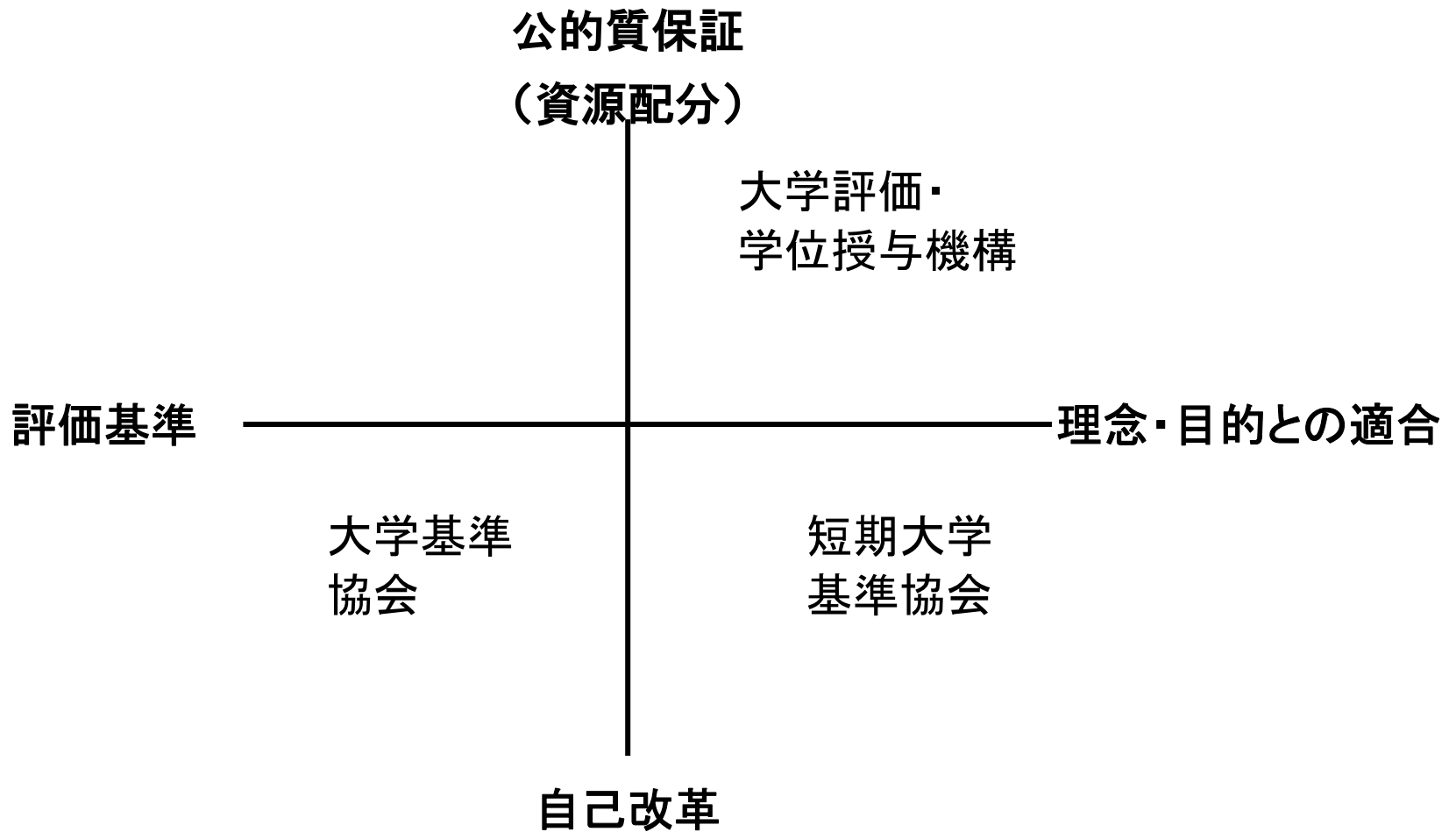
M.トロウ『高度情報社会の大学』より

# 高等教育システムの組織化に対する立場

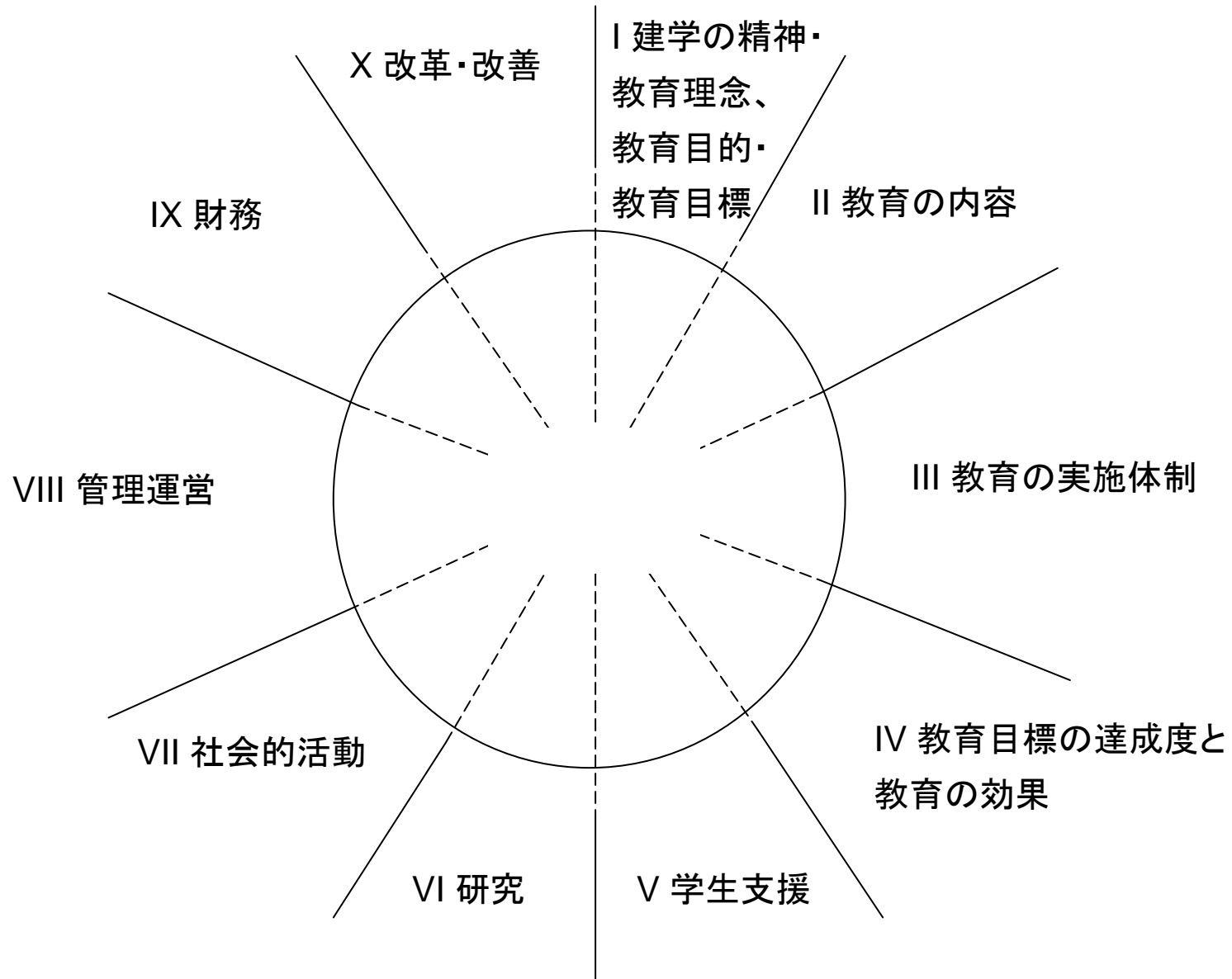
	一元論者	多元論者
業績主義者	I	II
平等主義者	III	IV

M.トロウ『高度情報社会の大学』より

# 第三者評価の変化



# ラーニング・アウトカムズと機関別評価



# 評価領域

- I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
- II 教育の内容
- III 教育の実施体制
- IV 教育目標の達成度と教育の効果
- V 学生支援
- VI 研究
- VII 社会的活動
- VIII 管理運営
- IX 財務
- X 改革・改善

評価項目 42 評価観点 179

# 評価システムの構築

1. 短期大学基準協会が実施する第三者評価の要綱
2. 短期大学評価基準
3. 自己点検評価報告書作成マニュアル
4. ALOマニュアル
5. 評価員マニュアル
6. 評価員の役割と評価の考え方
7. 短期大学基準協会におけるチーム責任者の役割
8. 領域別評価票
9. 項目別評価集計表
10. 項目別評価記入用紙
11. 短期大学基準協会における評価員の役割
12. 平成17年度の項目別評価のための評価の考え方
13. 平成17年度評価員研究会資料

# 自己点検評価の実質化

「各短期大学における自己点検・評価活動や第三者評価が円滑に行われるためには、各短期大学において、自己点検・評価の適切な実施、自己点検評価報告書の作成、資料（添付資料及び参考資料）の選別もしくは作成、学内調整、基準協会及び評価員との連絡、評価に係る情報収集等に中心的な役割を担う組織の構築と、その責任者の配置が必要。基準協会ではその責任者をALO(Accreditation Liaison Officer: 第三者評価連絡調整責任者)として設定。



# 評価の実施

評価チームはいずれも次の4カテゴリーで構成することとし、チーム責任者は原則としてAのカテゴリーを当てることにしている。

A — 理事長・学長等、或いは現職の副理事長、副学長。

B — 自己点検・評価活動に経験がある幹部教員。

現部科長(学科主任等を含む)及び部科長経験者  
もしくはこれに準ずる者。

C — 自己点検・評価活動に経験がある中堅教員。

助教授以上を原則。

D — 自己点検・評価活動に経験がある事務部門の責任者。

事務局長及び法人本部長もしくは局次長、副本部長。

但し「VIII管理運営」及び「IX財務」の領域に識見を  
有する者。

# 評価文化の形成に向けて 1

領域別評価に先立って個々の項目別評価を検討していく過程で明らかになった当該評価校が抱えている課題は、遠慮なく指摘する。

## 評価文化の形成に向けて 2

この指摘は当該評価校を糾弾するものでなく、まさに「ピアーの精神」に則り、当該評価校における将来の向上・充実に資することを期待しての指摘である。

# 評価文化の形成に向けて 3

「評価」が対象校にとって意味のある成果を生むためには、実際に評価という「場」を構成する評価者に、評価に臨む使命感、目的・方針の理解、具体的に自己点検評価報告書の書面調査と面接調査にあたる熟練、傾聴を基本とする姿勢、の共有化が成される必要がある。

# 評価文化の形成に向けて 4

ピア・レビューにおいて評価は、評価を受ける側と評価を行う側との出合いの場であって、「判定」は、評価を受ける側にとって出合の場を通じて得ることが出来た意味のある成果の「象徴」であるべきである。

# 今後に向けた課題

1. 自己点検評価の実質化  
(判定作業中断の発生から)
2. 評価過程の整備  
(審査委員会への申立から)
3. 評価員の視点の熟成  
(領域別評価結果の分析から)